

# あかびらの 今と昔

今と昔のあかびらでは、どのように変化をしているのでしょうか。ここでは、昔の懐かしいイベントや風景、建物などを紹介していきます。

## 市民総合文化祭



昭和40年の文化祭。この年の会場は双葉中学校で、4日間開催しました。



10月20、21日  
今年も子どもたちの力作がそろいました。



10月21日  
練習の成果を発表する大切な機会です。

10月20日(土)、21日(日)の2日間、交流センターみらいで市民総合文化祭が開催されました。各文化団体の皆さんは、歌・踊り・楽器演奏などの芸能や、文芸・芸術作品の展示で、日頃の練習や創作の成果を発表しました。

昭和33年4月に赤平文化連盟(後の文化協会)が発足して、その年から教育委員会との共催で「文化祭」が始まりました。41年から連盟主催で行われるようになり、「赤平市総合文化祭」に。その後43年に「市民総合文化祭」に名称を変えて現在に至ります。

昭和41年までは学校を使って開催していましたが、42年に文化会館が完成し、会場が移転。芸能と展示を別会場で開催したこ

ともありました。平成21年からは、芸能・展示ともに交流センターみらいで行われています。

市民総合文化祭は小中学生の作品を発表する場でもあります。かつては子どもたちによる芸能発表もあり、緊張しながら舞台上上がったという人もいるかもしれません。学校の中だけで展示していた作品が、外でたくさんの人に見てもらえるようになると、発表する側は励みになりますし、見る側も子どもの頑張りを感ずる心がなごみます。

趣味を持つことは「生きがい」につながります。市民総合文化祭に出る(出す)ことが生きがいという方のための、大切なイベントです。

こんにちは。地域おこし協力隊・地元農産物を活かした特産品推進部門の高橋です。

平成最後の夏もあっという間に過ぎてしまったような気がしていますが、AKABIRAベースの野菜直売を中心に、地元農家の皆さんと充実した時間を過ごすことができました。天候が農作物の生産に大きく影響を及ぼしましたが、農家の皆さんの努力によって、今年も様々なイベントで地元野菜のPRをすることができました。

例年より少し遅れましたが、赤平米の新米の販売がAKABIRAベースでスタートしています。数量限定での販売となりますが、皆さんぜひこの機会に赤平産のお米をお召し上がりください！

地域おこし協力隊 高橋



ゆめぴりか好評販売中。  
きたくりんは現在準備中です。  
もう少しお待ちくださいませ。  
(AKABIRAベースにて)

地域おこし協力隊通信

